

屋外アクティビティ

「知床」とは、北方領土の原住民の言葉であるアイヌ語で「地の果て」に近い意味を持った名前です。知床半島には山が多く、巨大な海岸絶壁や岩層火山で深い森林に覆われています。アイヌ民族がこの地につけた名前の由来は、きっとこの印象的な景色から来たことでしょう。羅臼町へ来た際は、ハイキングやガイド付きツアーで知床の起伏にとんだ地形を探索することができます。

知床半島を探索

ここでは、岩場の多い海岸線を周遊するツアーボートや根室海峡の深海域へと進むホエールウォッチング船に乗り、1年を通してここへやって来るクジラやイルカを見ることができます。森の中を抜けるハイキングコースや、火山の山頂へと続くトレッキングコースが用意されています。冬には、経験豊富なダイバーであれば、流氷下の海洋環境を探検することができます。

アイヌ民族の神（カムイ）の里

知床半島は、アイヌ神話に登場する三神（カムイ） — ヒグマ、シマフクロウ、シャチ — が棲む場所です。これらの動物は食料としてこの地域を守ってきており、アイヌの暮らしを支えるうえで果たしたその重要な役割ゆえにあがめられています。これらの動物は、観察ツアーで見ることができます。